

成城の風



発行者 青少年成城地区委員会会長 坂出雅海 事務局 世田谷区役所 成城出張所 3482-1348

わたしたちは地域の子どもたちといっしょに活動しています(22年度の活動より)

千歳っ子夏祭り 『地域に育てられている夏祭りの素晴らしさ』

◆7月3日◆子どもたちの元気な太鼓の音と共に、「第23回千歳っ子夏祭り」が開催されました。フランクフルトやジュース等の模擬店やバザー、新 BOP の方によるポップコーン、学校の先生のご協力による綿あめはいつも笑顔にあふれていました。上祖師谷ばる児童館にご協力いただいたローラーコースターはスリル満点で子どもたちはイキイキと楽しっていました。



青少年成城地区委員会の手作りコーナーでは、最初はあまり人も来ないので心配をしていましたが、終わってみれば、万華鏡、紙コップけん玉、風車、どれも100個用意したのに足りなくなるくらい大盛況でした。大人も子どもも楽しめて良かったと思いました。おやじの会、ソフトボール同好会の方で組まれたやぐらの周りでは、3時30分頃からばるの大人太鼓の演奏会が始まり、いよいよクライマックスの盆踊り。4月から地区委員になり、私の知らなかった事があります。地域の方との交わり。皆さんに支えられて成り立っている。1年間本当にありがとうございました。(渡部)



夏休み親子映画会 ◆7月31日◆

ディズニー映画「カールじいさんの空飛ぶ家」を、午前・午後の2回上映しました。みなさん、ご家族と、またお友達とご来場いただき各回とも満席の大好評!!ありがとうございました。

映画会は、同じ作品でも、自宅でDVDなどを観るのとは違い、暗い中で大きなスクリーンで大勢の人と一緒に観る、開始のブザー音と同時に目も耳も、さらに体全体を集中させて、すーっと作品の中に入って行ける、自然に人をひきつけて夢中にさせてくれる、そして最後に観た人の心の中に、何か種を残してくれるものだと思います。

私達は、また皆さんに楽しんでいただけたら、色々な作品の中から選んで、上映に向けて頑張ります。また夏休みにお会いしましょう。(鎌倉)



素まっふ隊

◆9月18日&3月5日◆ 私たちのまち成城は、大正時代にまちづくりがスタートし、その後、昭和・平成に至る約100年の間に大きく発展してきました。成城のまちを歩くと、その発展のあとがあらここに残っています。22年度は「みんなでさがそう成城のむかし-成城のむかしへワープ-」をテーマに、まちに残る昔のモノやコトを探し、その感想や地図を発表しあうワークショップを行いました(“素まっふ”とは子どもが書き込む白地図のことです)。



9月には小田急線の北側を、3月には南側を歩き探検しました。成城町〇〇番地と書かれた旧表示の表札や、7桁の電話番号の看板、大谷石を使った塀、古い形の送電塔、手押しポンプの井戸、などなど実に多くの昔を発見しました。道の四つ角を上げたスミキリや、まちに



緑を提供した生垣は、まちができたころの申し合わせだったそうです。自治会事務所に立つ火の見ヤグラは近く撤去される予定で見納めでした。今では珍しい畳屋さんのお店、大昔の古墳(砦中学校内)も町内にあり驚きでした。このワークショップを通して、参加した私たちの中に、これからも長く続いていく成城のまちを誇りに思い大切にしていける心が、わずかに芽生えてきたようです。(石神)

中学生事業

地区委員会の各行事では毎年、中学生ボランティアの皆さんのお力を借りています。中学生の地域への小さな社会参加によって、私たち地区委員との交流だけでなく、行事に参加される地域の大人や小・中・高校生との交流があります。

更に中学生の意見や希望を私たちの行事や事業に反映することができれば、地区委員会の活動はより柔軟でフレッシュなものになると思います。

今年度は各行事の中学生ボランティアを年度の最初にまとめて千歳中学校と砦中学校にお願いし、予想より多くの中学生が応募してくれました。又、この広報紙『成城の風』の記者も募集したところ女子二名が手を挙げてくれ、今回がそのデビュー版になります(裏面は中学生の原稿です)。新年度も中学生の挑戦を地区委員会は待っています!!(永田)



明正小まつり

◆10月23日◆今年も地区委員会からは『わかめスープコーナー』で参加しました。おいしいコンソメスープにほっと一息できるこのコーナーは毎年子どもたちに好評です。

今年はスープコーナーに防災鍋での配布が復活し、あわせて水消火器体験、煙中テントの煙体験をやってみたところ、「有事に備えることは大事ですね」という感想をたくさんいただきました。今までの先輩父母方が作り上げてきてくださった思いを大切に受け継ぎながら、毎年、明正小まつり委員会の委員さんたちは学校、保護者、地域の方々、新BOP、児童館等と一緒に親子で楽しい一日を作り上げるべく準備しています。準備作業を通じて親同士が出会い、会話を深め、又普段お世話になっている先生方や地域の方々を身近に感じたりできます。何より、同じ時代を共に過ごしている子どもたちの為に年齢を越えて協力しあえる楽しさ嬉しさがあります。(小林)



ちいきこどもまつり

◆11月14日◆成城さくら児童館で「第30回ちいきこどもまつり」が開かれました。

今年は設立30周年ということもあって、例年よりさらにパワーアップ。かわいい女の子たちのダンスに、ちょっと気持ち悪いおやじ達のAKB48まで現れた仮装大会。トロ券を手にした子どもたちで大にぎわいだった子どもたちのお店。そして、30周年記念企画として夏に公募した「児童館の旗」が完成。みなさんの前でお披露目されました。青少年成城地区委員会の赤エプロン隊は、成城出張所の職員さんの応援も頂いて、恒例の「特製無料スープ」を出店。明正小校外委員会のわたあめ屋さんと焼きそば屋さん、中学生のポップコーンに学童ク



ラブ父母会のあそぼうパンの次に人気でした。来年は人気第1位の大行列店を目指して頑張りたいと思います。(尾形)

委員研修会 ◆2月16日◆

私たちの地区委員会は自治会、商店会の方、民生委員、保護司、青少年委員、日赤などの地域で活動する方、そして小中のPTAと校長先生という様々な方で成り立っています。

研修部は活発で楽しい委員会活動につながるよう、お互いを知り合うことを目的に話し合いました。また今年度は、昨年からの課題である「地域と中学生」をテーマにじっくりと意見を交換し、具体的な案がたくさん出されました。これからも地区委員会が何を目指していくか、地域で子どもを育てるということに私たちは何が出来るかを考えていきたいと思っています。(辻)

野外活動(集まれ!自然たんけん隊)

◆10月17日◆キーワードは“自然”。自然に触れ、自然と遊び、自然を知る、をコンセプトに、祖師谷公園に55名の小学生(千歳小47名、明正小8名)が集まりました。

前半は“目隠しトレイル”、木と木の間に張ったロープを頼りに目隠して歩いていきます。目が見えないことで五感研ぎ澄まされ、恐怖とともに新しい感覚を味わったようです。



“フィールド・ビンゴ”では、用紙片手にビンゴ目指して、目当ての自然を探し、公園中を走り回っていました。

後半は、自分で切った丸太をペンダントにして首からさげながら“パチンコ”をしたり、“草笛”を吹いたり、“イチヨウの葉の力士でお相撲”をしたり、“俳句”を作ったり…。いろいろな形で“自然”を体感、表現できました。(徳岡)



フィールドフェスティバル

◆11月14日◆「世界を結ぶみんなの心」をメインテーマに開催されたトライアングルフェスタ。その中で青少年上祖師谷地区委員会を中心に、地域の中学生や団体が模擬店やPRブースを出店するフィールドフェスティバルに今年も“エコ”をテーマに参加しました。

クイズに答えて景品をゲット!したり、どんなエコ活動をしていますか?というアンケートに一生懸命答えてお菓子をもらったり、幅広い年代のたくさんの方々に参加して頂きました。

去年に引き続き展示した国分寺崖線のパネルや雨水浸透マスの模型にも関心をもって頂き、また、小さな子どもたちが自分のしているエコ活動をいくつも答えてくれているのを見て、物を大切に、節約しようとする意識が当たり前になってきているのだな、と感心しました。

ひとりひとりの小さな努力が無駄にならないよう、地域や国を超えての大きな活動に繋がっていければいいなと思いました。(菊池)

せいじょう地域文化祭

◆12月5日◆

地域の様々な団体と学校、100名を超える中学生ボランティア、そして地区委員と区の職員の方々が一丸となって開催する、私たちの最大のイベント、文化祭。

第11回目を迎えた今年度の文化祭は、成城ホールで約3,000人の来場者を迎え賑やかに開催されました。本格的な照明も音響も中学生が担当するステージ、子どもフリーマーケット、模擬店、総合工科高校や上祖師谷中学校の生徒たちも参加したテーマスペース。それぞれの様子は、裏面の中学生記者のレポートをご覧ください!(坂出)



